

そのだ南

尼崎市立園田南小学校

学校便り 第8号

令和2年11月2日

HPアドレス www.ama-net.ed.jp/school/E45/index.html



たのしい「みなみっ子」たち

校長 佐藤 喜代子

今年度初めての大きな行事である体育大会が無事終わりました。「例年はない」と何度も言葉にしましたが、いかに例年通りのやり方に頼りきっていたかということに気づかされました。私は本校に着任して4年目になりますが、以前は体育大会を秋に開催していたようです。6月開催に移行して、春開催の良さがわかるようになりました。クラスの団結や学年全体の学びが大きく、個々の自覚や意識の向上につながるという意味で、慣れない低学年には負担が大きい反面、それ以降の様々な行事や活動に役立っていました。

今回、「どうすればできるのか」「どうすれば、安全かつ達成感ある体育大会になるか」と体育部の職員を中心に何度も協議を重ねてきました。開催が危ぶまれる状況下で、実施方法も二転三転しました。各校さまざまな方法を工夫していますが、本校は当初、徒競走と団体競技で実施する予定でいました。しかし、本来の目的である、身体を動かす楽しさや一つのことを人との関わりで作り上げる達成感を味わわせるには、負担は大きいけれど団体演技がふさわしいと考え直し、行事が集中する2学期になってから、今回の形でやることを決定しました。また、全校生が一斉に介す本来の体育大会に近い形で盛り上げたいと、密を避けるために児童のみの開催となりました。保護者の皆さまには徒競走や他の学年の演技を目の前でという思いを叶えることができずに申し訳ありませんでしたが、ご理解とご協力をいただき、心から感謝しています。

また、初めて全保護者を招いての行事となったリズムダンス発表会では、PTAのご配慮でガードマンの配置や見回り、そして何よりもマナーよく観覧いただいたおかげでとてもスムーズに会を運ぶことができました。発表会では、少し違った緊張感があったようですが、生き活きと活躍する姿を観てもらえて満足げでした。

今までのガマンばかりの生活とは違う本来の学校生活を味わうことができ、教室とは違った姿、輝く表情、力一杯頑張る姿を見ることができました。限られた時間の中でしたが、子ども達の成長する姿は目を見張るものがあり、周りの刺激を受けることで、自ら心動かされて人に感動を与えることができることを実証してくれました。この時期だからこそ出せる一体感、集中力も見取れました。リモートでは決して味わうことのできない達成感、仲間との温もりあるつながり、子ども達の本来の姿、持っている力だなと心打たれました。感染対策としては、まだまだ注意が必要ですが、この学びをぜひこれからの学校生活に活かせたらと考えます。

話しは変わって、学校で視力検査と眼科検診をしたところ、かなりの数の要治療児童がいることがわかりました。目を酷使している生活を、今一度見直す必要があるのではないのでしょうか。スマホ、ゲーム機、PCといった機器を使う機会は子ども達にとっても急激に増えているのが現状です。こんな気になる記事がありました。

総務省の調査によると日本人の6割が所有するスマートフォン。大音量による聴覚障害、近くで画面を見続けることによる近視への懸念がある反面、視覚、聴覚などの不自由さを解消する補助ツールとしての有用性が確かめられている。『スマートフォンの光と影』という講座の中で、専門家からのその両面の講演が開かれた。適切な使用法を守る一方で、補助具としては更なる活用、普及を図ることを提言している。

影の内容として…聴覚に悪影響があるのは、80~85デシベルより大きな音。スマホの音量を制限する国もあるが、日本の機種は100~105デシベルの出力が可能で、これは車のクラクションを間近で聞くほどの音量になる。聖マリアンナ医大耳鼻咽喉科の小森学講師によると「悪影響を防ぐためにはイヤホン使用を一日1時間にとどめ、使用後は耳を休めるように心がけるとよい。十分な睡眠や日常の騒音などを耳栓などで避けることも大切だ。」と話した。外の音をシャットアウトする機能があるヘッドホンも有用だという。視力への影響に関して、東京医科歯科大眼科の大野京子教授は、小児からの近視が世界的に急増し、日本でもここ30年で約3倍に増えたというデータを紹介した。「小さな画面を見続けるスマホは人の目が経験したことのない強い刺激になる」と注意喚起し

た。近視だけでなく、寝転んで見て、ピントが左右でずれたり、画面が近すぎて目が寄ったりして斜視の危険性も高まる。大野さんは、「スマホを頻繁に使う人は使用時間を過小評価しているとのデータもある。小児では、保護者が使用時間をきちんと管理して外遊びの時間を確保するようにしてほしい。」と話した。

光の内容として…京都大学山本典生准教授は、マスク使用で聞き取りにくさを感じている人に聴覚を補助するスマホの可能性を言及した。スマホとAIの進歩により、音声を変換する機能が高度化できるとし、諸外国の建物や交通機関では、スピーカーではなく、電磁誘導の仕組みを使って磁気コイル付きの補聴器や人工内耳に雑音のない音を伝える「磁気ループシステム」の導入が進んでいるとして日本でも普及を早めるよう話す。NEXT VISION 理事で眼科医の三宅琢さんは、文字の拡大や読み上げ、明るく大きな撮影などスマホに実装されているツールの有用性を解説し、色覚障害の色の見え方を画面で再現し、障害がない人との共通理解を深める機能など多様なアプリが開発されていることを紹介した。また、声で指示するだけでアラーム設定や天気の確認、メッセージ送信、日程管理、飲食店を探して道順を調べる等がわずか3分で可能なことを示した。三宅さんは、「スマホは視覚障害者の移動と情報アクセスの困難を解消し、人とのつながりを広げるツールになり得る」と強調した。 参照：神戸新聞 R2.10.8

先月のたよりでも紹介しましたが、だめなものとして禁止したり、極端な制限をする必要はないと思いますが、リスクをしっかりと理解した上で健康被害を及ぼさないように防止策を徹底し、上手な活用を促していく。何よりもバランスを重視した生活が一番必要なのではないのでしょうか。

今年から「体育の日」が「スポーツの日」と変わったように、楽しみながら運動を継続し、さまざまな体験やつながりで「心も身体も元気な みなみっ子」であってほしいと願っています。

スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋、食欲の秋・・・まだまだ続きますように!!

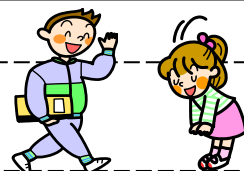
11月 行事予定

1日(日)		17日(火)	個人懇談会
2日(月)	放送朝礼 <small>諸費振替日</small>	18日(水)	
3日(火)	文化の日 5年自然学校	19日(木)	4・6年歯科検診 ●
4日(水)	5年生代休日	20日(金)	
5日(木)	1・6年歯科健診 ●	21日(土)	
6日(金)		22日(日)	
7日(土)		23日(月)	勤労感謝の日
8日(日)		24日(火)	地震津波避難訓練(5h)
9日(月)	1・4年心臓検診 読書週間	25日(水)	クラブ 読み聞かせ放送(図書委員会)
10日(火)	就学時検診(13:30~) 式校時 13:15~下校	26日(木)	4・5・6年6校時 ●
11日(水)	委員会活動(6h)	27日(金)	6年修学旅行 式校時
12日(木)	4・5・6年6校時 ●	28日(土)	
13日(金)	<small>諸費振替日</small>	29日(日)	
14日(土)		30日(月)	式校時
15日(日)		12月2日(水)~5日(土) 図工展 14日(月)~18日(金) 給食週間	
16日(月)	個人懇談会	18日(金) 給食終了 25日(金) 終業式 ● 定時退勤日	

2学期生活目標

友だちの気持ちを大切にし、力を合わせてがんばろう

11月のめあて
言葉づかいをていねいにしよう



【裏面もお読み下さい】

11月より登校時間の変更のお願い

分散登校 A グループ：8時10分～8時20分

分散登校 B グループ：8時20分～8時30分



みなみっ子タイム（朝学習）が 8時30分～ 始まります。8時30分には朝の用意を終わらせ、着席し、朝学習を始められるように、ご協力を宜しくお願いします。

個人懇談会《11月16（月）～20（金）》

日時：午後2時00分～午後4時30分

場所：各教室

- お願い
- ・児童は清掃後下校します。
 - ・スリッパをご持参ください。マスクの着用をお願いします。
 - ・本校には、駐輪場がありません。自転車での来校はご遠慮ください。

図工展のお知らせ

場 所

【平面作品】 1～6年体育館

【立体作品】

1年 視聴覚室 4年 体育館ギャラリー

2年 図工室 5年 体育館中央

3年 学習室・生活科室 6年 体育館ステージ前

図工展が下記の日程で行われます。

テーマ

「いいなこの色 おもしろいなこの形」

日 時

12月2日（水） 14：00～16：30（保護者鑑賞）

12月3日（木） 14：00～16：30（保護者鑑賞）

12月4日（金） 14：00～16：30（保護者鑑賞）

12月5日（土） 9：00～12：30（保護者鑑賞 分散登校 A）

12：30～16：00（保護者鑑賞 分散登校 B）

※5日（土） 1～4校時（月曜時間割/式校時のため 12：10頃下校）

※本年度、オープンスクールは実施しておりません。図工展のみの開催となります。

※12月7日（月）は代休日です。

